

令和5年度 漁業担い手満足度調査報告書



(いわて水産アカデミー 定置網漁業実習)

令和6年 11 月
岩手県農林水産部水産振興課

目 次

I 調査の概要	1
II 調査結果	4
III まとめ	10
参考資料	11
用語解説	13

I 調査の概要

1 調査の目的

本県における「なりわい」としての漁業の魅力について、漁業者の満足度を指標として定量化するとともに、満足度に影響を与える要因を分析し、就業環境の改善などの漁業担い手対策の参考とするもの。

2 調査設計

- (1) 調査対象
- ①岩手県漁業士*（令和5年10月4日現在の名簿登載者）
82名（青年漁業士16名、指導漁業士66名）
※地域漁業の中核的な役割を担う者として知事の認定を受けた者
 - ②若手漁業者（沿海地区漁協に所属する着業10年未満の漁業者）
95名（22漁協×各3名、いわて水産アカデミー修了生29名）
- (2) 調査方法 設問票及びWEBによるアンケート調査
- (3) 調査対象期間 令和4年11月～令和5年10月
- (4) 調査時期 令和5年10月～令和5年11月

3 調査項目

- (1) 総合満足度 現状についての総合的な満足度（表1）
- (2) 個別満足度 満足度に関係する可能性のある30項目についての満足度（表2）

4 有効回答数

- (1) 岩手県漁業士 47名（青年漁業士9名、指導漁業士38名） 回収率57.3%
- (2) 若手漁業者 24名 回収率25.3%

5 調査の分析方法

- (1) 総合満足度は、「非常に満足」、「満足」、「やや満足」、「ふつう」、「やや不満」、「不満」、「非常に不満」、の7段階評価とし、それぞれ「3点」から「-3点」までの1点刻みで数値化して分析した。

$$\begin{array}{l} \text{算定式} \\ \text{総合満足度 (平均点)} = \frac{(\text{'非常に満足'} \times 3点) + (\text{'満足'} \times 2点) + (\text{'やや満足'} \times 1点) + (\text{'ふつう'} \times 0点) + (\text{'やや不満'} \times (-1点)) + (\text{'不満'} \times (-2点)) + (\text{'非常に不満'} \times (-3点))}{(\text{回答者数})} \end{array}$$

※総合満足度は、3.00点～-3.00点の値で、高いほど満足度が高いことを表す。

- (2) 個別満足度は、項目ごとに、「そう思う」、「まあ思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で評価し、それぞれ「4点」から「1点」までの1点刻みで数値化して分析した。
- (3) 総合満足度の構造分析は、以下の手順で分析した。
- ① 個別満足度の各項目について、「そう思う」、「まあ思う」と回答した人の割合を計算（満足率）
 - ② 個別満足度の各項目のうち、どの項目が総合満足度に影響を与えているか数値化する

ため、総合満足度と個別満足度の相関係数を算出（重要率）

③ ①の満足率と②の重要率を比較するため、各数値を標準化（満足度と重要度）し、グラフを作成（総合満足度の要因グラフ）

④ ③の総合満足度の要因グラフのうち、改善すべき優先項目を数値化（改善度を算出）

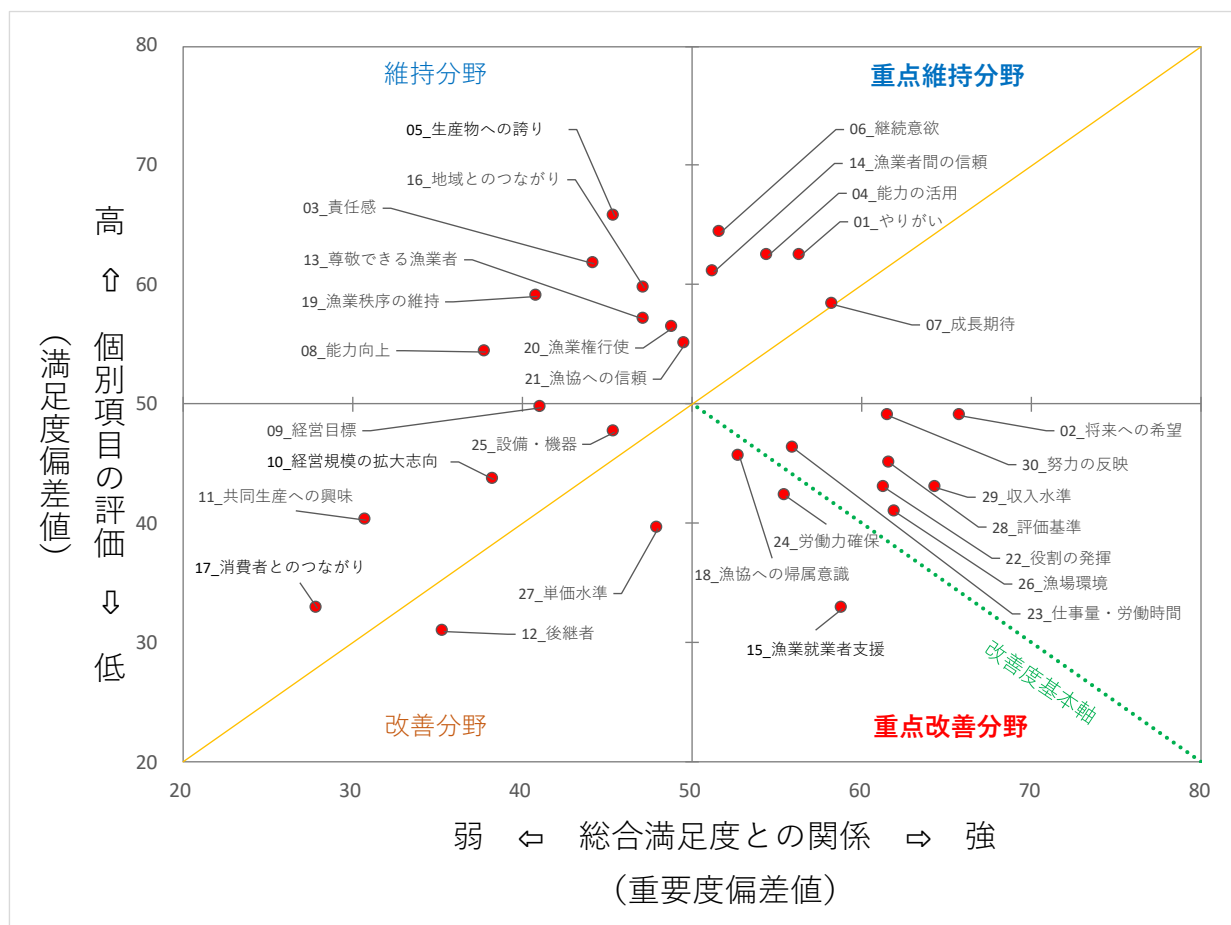


図1 総合満足度の要因グラフ（重要度と満足度の偏差値グラフ）

○グラフのエリアについて

- ・重点維持分野（右上エリア）：重要度、満足度ともに高い分野
- ・重点改善分野（右下エリア）：重要度が高く、満足度が低い分野＝優先的に改善すべき分野
- ・維持分野（左上エリア）：重要度が低いが、満足度が高い分野
- ・改善分野（左下エリア）：重要度、満足度ともに低い分野

○改善判断について

グラフの左下(20, 20)からグラフの右上 (80, 80) に対角線を引くことで、改善の必要性を判断することができる

- ・対角線より右下に位置する項目＝改善を要する項目
- ・対角線より左上に位置する項目＝改善を要しない項目

また、改善すべき優先順位を判断するため、中心 (50, 50) から右下 (20, 80) に改善度基本軸を引き、改善度を計算した。

- ・平均値座標 (50, 50) から距離×改善度基本軸との角度＝改善度

※数値がマイナスの場合は改善を要しないもの、プラスの場合は数値が大きいくほど改善の優先順位が高くなるもの。

表 1 総合満足度の設問構成

設問	評価基準
あなたは、総合的に考えて、現在の漁業の仕事や環境にどの程度満足していますか。	7段階評価 ①非常に不満 ②不満 ③やや不満 ④ふつう ⑤やや満足 ⑥満足 ⑦非常に満足

※ 3点(非常に満足)～1点(非常に不満)で採点し加重平均値を算出した。

表 2 個別満足度の設問構成

要因区分	項目	設問	評価基準
仕事	(1) やりがい	漁業にやりがいを感じている。	4段階評価 ①そう思う ②まあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない
	(2) 将来への希望	漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	
	(3) 責任感	水産物の食料供給を担う責任ある仕事だと思う。	
	(4) 能力の活用	自分の能力が活かせる仕事だと思う。	
	(5) 生産物への誇り	自分の生産物や地域のブランドに誇りをもっている。	
	(6) 継続意欲	体力と意欲が続く限り働き続けられる仕事だと思う。	
自己の成長	(7) 成長期待	仕事を通じて人として成長できると思う。	同上
	(8) 能力向上	自身の能力向上(試験研究、研修、講習会等)の機会に恵まれていると思う。	
経営目標	(9) 経営目標	自分には明確な経営目標がある。	同上
	(10) 経営規模拡大	現在の漁業経営の規模を拡大したい。	
	(11) 共同生産への興味	他の漁業者等との共同生産に興味がある。	
	(12) 後継者	後継者、又は後継者として見込んでいる者がいる。	
他の漁業者との関係	(13) 尊敬できる漁業者	地域に尊敬できる漁業者がいる。	同上
	(14) 漁業者間の信頼	必要ときに他の漁業者に相談できる環境にある。	
	(15) 漁業就業者支援	地域には、漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援する環境が整っていると思う。	
地域住民や消費者との関係	(16) 地域とのつながり	近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	同上
	(17) 消費者とのつながり	消費者と対話する機会を積極的に確保している。	
漁協との関係	(18) 漁協への帰属意識	所属する漁協の組合運営や経営方針、取組等に理解を示している。	同上
	(19) 漁業秩序の維持	地域の漁業者はルールを守って操業している。	
	(20) 漁業権行使	十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	
	(21) 漁協への信頼	必要ときに漁協に相談できる環境にあると思う。	
	(22) 役割の発揮	地域には年齢、経験、性別に応じて、それぞれの役割を発揮できる漁業生産環境が整っている。	
労働条件	(23) 仕事量・労働時間	現在の自分の仕事量や労働時間・休暇のバランスは、 適当な水準だと思う。	同上
	(24) 労働力確保	漁業生産のために十分な労働力が確保できている。	
	(25) 設備・機器	漁業生産のために十分な設備・機器が整っている。	
	(26) 漁場環境	漁場の生産環境は良好である。	
収入	(27) 単価水準	生産物の単価は適当な水準だと思う。	同上
	(28) 評価基準	生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。	
	(29) 収入水準	現在の自分の収入は適当な水準だと思う。	
	(30) 努力の反映	自分の努力は収入に適切に反映されていると思う。	

※ 4点(そう思う)～1点(そう思わない)で採点し平均値を算出した。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

区分別	漁業士 (A)		若手漁業者 (B)		全体 (A+B)	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
青年漁業士	9	19.1%	0	0.0%	9	12.7%
指導漁業士	38	80.9%	0	0.0%	38	53.5%
若手漁業者	0	0.0%	24	100.0%	24	33.8%
合計	47	100.0%	24	100.0%	71	100.0%

漁業種別	漁業士 (A)		若手漁業者 (B)		全体 (A+B)	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
漁船漁業	3	6.4%	7	29.2%	10	14.1%
養殖業	35	74.5%	15	62.5%	50	70.4%
採介藻漁業	9	19.1%	2	8.3%	11	15.5%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	47	100.0%	24	100.0%	71	100.0%

地区別	漁業士 (A)		若手漁業者 (B)		全体 (A+B)	
	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比
県北	12	25.5%	4	16.7%	16	22.5%
宮古	12	25.5%	6	25.0%	18	25.4%
釜石	5	10.6%	3	12.5%	8	11.3%
大船渡	18	38.3%	11	45.8%	29	40.8%
合計	47	100.0%	24	100.0%	71	100.0%

※構成比：小数点第2位を四捨五入（数値の合計が100%にならない場合がある）

2 総合満足度の分析

(1) 総合満足度の推移

今回の調査では、総合満足度は 0.44 点と令和 4 年度よりも上昇しましたが、過去 3 番目に低い数値となりました（図 2）。

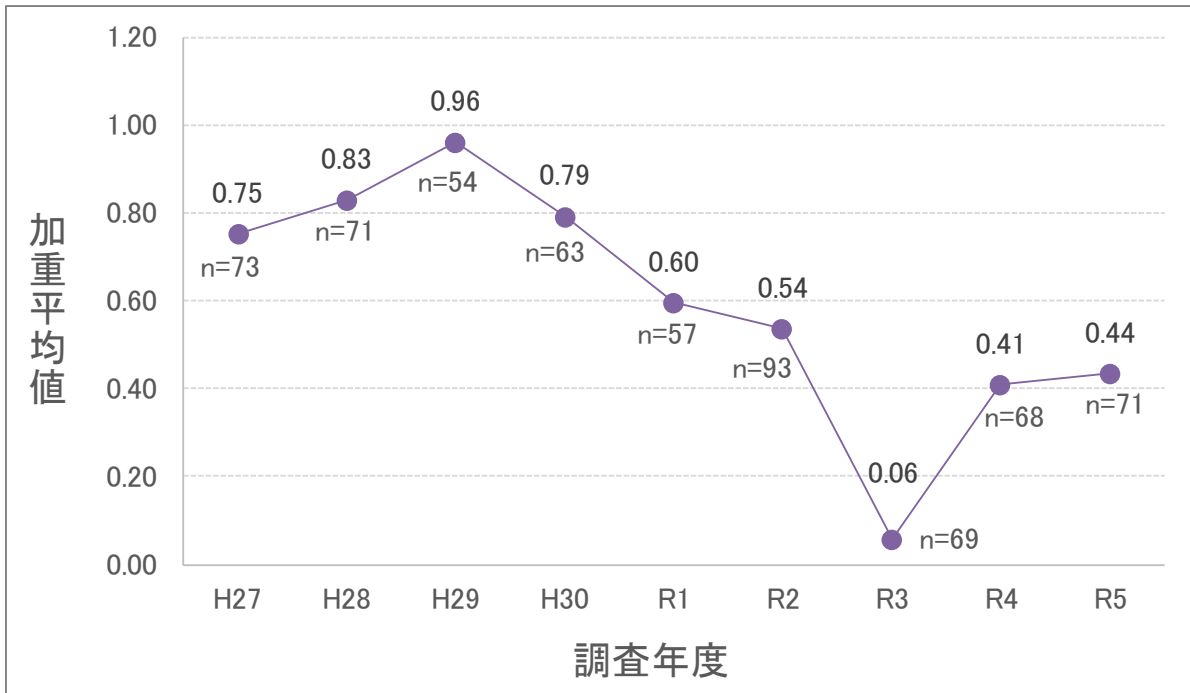


図 2 回答者全体の総合満足度の推移（n：有効回答者数）

(2) 漁業種類別の総合満足度

漁業種類別の総合満足度は、漁船漁業が 0.10 点、養殖業が 0.56 点、採介藻漁業が 0.18 点となり、漁船漁業と採介藻漁業は前回の調査と比べて上昇しました。一方、養殖業は前回の調査と比べて低下しました（図 3）。

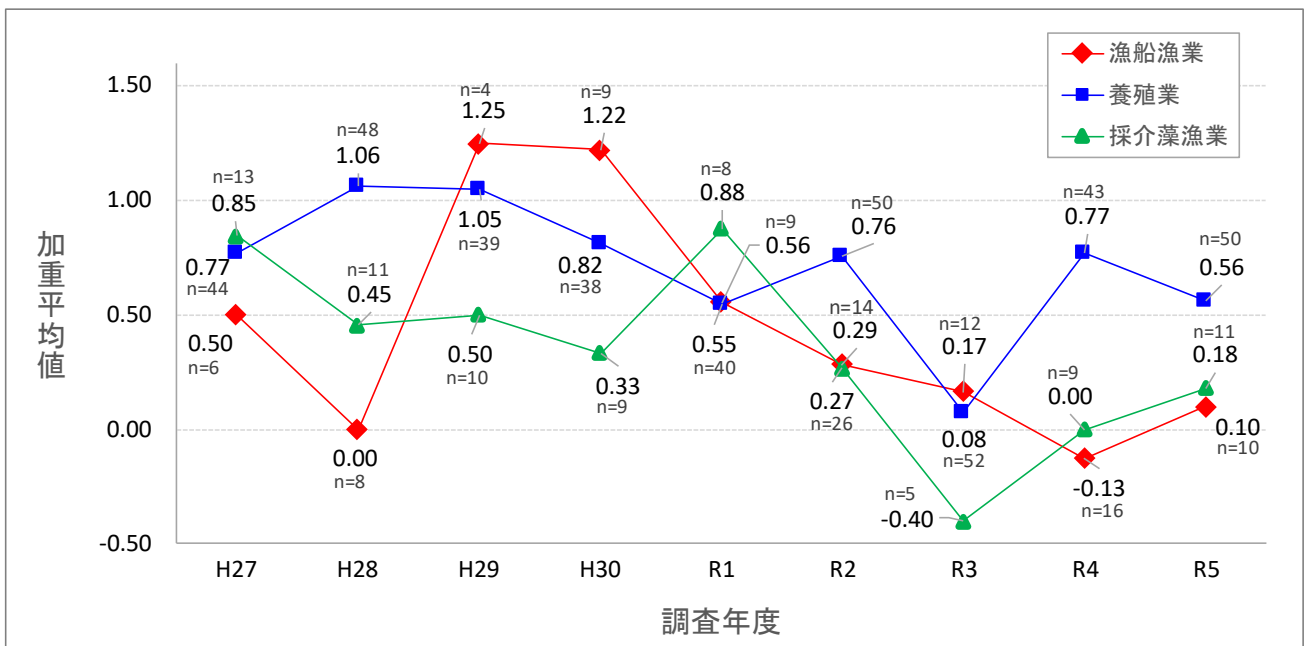


図 3 漁業種別の総合満足度の推移（n：有効回答者数）

(3) 総合満足度の構造分析

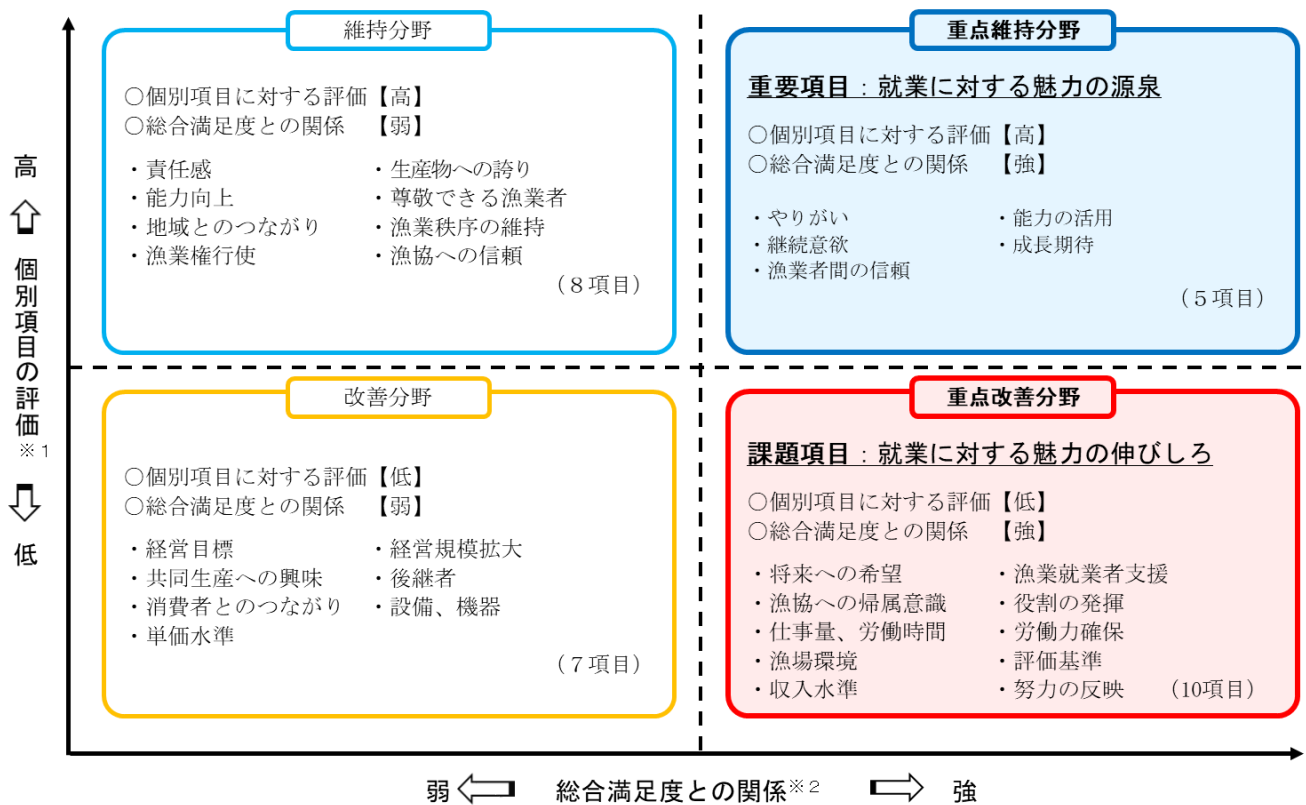
個別満足度の評価項目（30項目）について、総合満足度との相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を『重要項目』、総合満足度と関係が強いが、個別満足度の低い項目を『課題項目』と定義しました。

- ・『重要項目』… 就業に対する魅力の源泉
- ・『課題項目』… 就業に対する魅力の伸びしろ

ア 総合満足度の要因（全体）

今回の調査では、『重要項目』に「やりがい」、「継続意欲」、「漁業者間の信頼」、「能力の活用」、「成長期待」の5項目が分類されました。

また、『課題項目』として、「将来への希望」、「漁協への帰属意識」、「仕事量、労働時間」、「漁場環境」、「収入水準」、「漁業就業者支援」、「役割の発揮」、「労働力確保」、「評価基準」、「努力の反映」の10項目が分類されました（図4）。



※1 個別項目の評価の高低（各設問に対する「そう思う」「まあそう思う」の構成比の合計の偏差値）
 ※2 総合満足度と個別項目の評価との関係の強弱（どの項目が総合満足度に影響を与えているかの相関係数）

図4 総合満足度の要因

イ 総合満足度における重要項目と課題項目の推移

過去5年間の調査では、「やりがい」、「将来への希望」、「能力の活用」、「継続意欲」、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」、「努力の反映」の8項目が『重要項目』又は『課題項目』のいずれかに分類される頻度が高く、総合満足度との関連が強いことが分かります。

なお、今回調査の『課題項目』10項目のうち、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」の順で改善度が高く、優先的に改善が求められています（表3）。

表3 重要項目と課題項目の推移

要因区分	項目	設問	調査年度					R5 改善度					
			R1	R2	R3	R4	R5						
仕事	やりがい	漁業にやりがいを感じている。	◎	◎	◎	◎	◎	-2.76					
	将来への希望	漁業者としての自分の将来に希望を感じている。	◎	◎	■	■	■	8.53					
	責任感	水産物の食料供給を担う責任ある仕事だと思う。						-10.38					
	能力の活用	自分の能力が活かせる仕事だと思う。	◎	◎	◎	◎	◎	-3.69					
	生産物への誇り	自分の生産物や地域のブランドに誇りをもっている。						-11.18					
	継続意欲	体力と意欲が続く限り働き続けられる仕事だと思う。	◎		◎	◎	◎	-6.20					
自己の成長	成長期待	仕事を通じて人として成長できると思う。			◎		◎	-0.05					
	能力向上	自身の能力向上(試験研究、研修、講習会等)の機会に恵まれていると思う。	◎	◎		■		-9.32					
経営目標	経営目標	自分には明確な経営目標がある。			■	■		-4.25					
	経営規模拡大	現在の漁業経営の規模を拡大したい。						-2.44					
	共同生産への興味	他の漁業者等との共同生産に興味がある。						-4.37					
	後継者	後継者、又は後継者として見込んでいる者がいる。						1.99					
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者	地域に尊敬できる漁業者がいる。		◎				-5.66					
	漁業者間の信頼	必要ときに他の漁業者に相談できる環境にある。			◎		◎	-4.77					
	漁業就業者支援	地域には、漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援する環境が整っていると思う。	■		■	■	■	15.47					
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり	近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。						-6.90					
	消費者とのつながり	消費者と対話する機会を積極的に確保している。			■			-2.26					
漁協との関係	漁協への帰属意識	所属する漁協の組合運営や経営方針、取組等に理解を示している。		◎	◎		■	4.47					
	漁業秩序の維持	地域の漁業者はルールを守って操業している。		◎		◎		-12.83					
	漁業権行使	十分な漁業権の行使機会に恵まれている。			◎	◎		-4.00					
	漁協への信頼	必要ときに漁協に相談できる環境にあると思う。		◎	◎	◎		-2.78					
	役割の発揮	地域には年齢、経験、性別に応じて、それぞれの役割を発揮できる漁業生産環境が整っている。					■	11.37					
労働条件	仕事量・労働時間	現在の自分の仕事量や労働時間・休暇のバランスは、妥当な水準だと思う。			◎		■	5.97					
	労働力確保	漁業生産のために十分な労働力が確保できている。		■			■	8.49					
	設備・機器	漁業生産のために十分な設備・機器が整っている。		◎				-1.01					
	漁場環境	漁場の生産環境は良好である。		■	■	■	■	13.65					
収入	単価水準	生産物の単価は妥当な水準だと思う。		■				3.99					
	評価基準	生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。		■			■	9.62					
	収入水準	現在の自分の収入は妥当な水準だと思う。		◎	■	■	■	12.63					
	努力の反映	自分の努力は収入に適切に反映されていると思う。		◎	■	◎	■	6.44					
			(重要項目数)					5	11	9	7	5	
			(課題項目数)					1	4	7	6	10	

※ 漁業種類ごとの構造分析として、総合満足度との相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を「重要項目◎」、総合満足度と関係が強いが、個別満足度の低い項目を「課題項目■」としている。

また、個別項目の改善すべき優先順位を判断するため、改善度を算出し、優先度上位3項目を赤字で記載している。

3 漁業種類別の個別満足度の分析

(1) 養殖業

重要項目として「やりがい」や「将来への希望」を含む6項目、課題項目として「漁業就業者支援」を含む9項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「収入水準」、「労働力」、「漁場環境」となっています。

(2) 漁船漁業

重要項目として「やりがい」や「成長期待」を含む6項目、課題項目は「将来への希望」を含む11項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「漁業就業者支援」、「評価基準」、「漁場環境」となっています。

(3) 採介藻漁業

重要項目として「能力の活用」や「継続意欲」を含む10項目、課題項目として「経営目標」を含む8項目となりました。課題項目のうち、改善の優先順位が高い順に、「消費者とのつながり」、「経営規模拡大」、「役割の発揮」となっています。

表4 個別満足度評価表（漁業種類別）

要因区分	項目	漁業種類					
		養殖業		漁船漁業		採介藻漁業	
		重要・課題	改善度	重要・課題	改善度	重要・課題	改善度
仕事	やりがい	◎	-1.50	◎	-5.51		-3.81
	将来への希望	◎	5.74	■	7.49	■	9.05
	責任感		-10.28		-6.34		-8.66
	能力の活用	◎	-0.82		-12.02	◎	0.10
	生産物への誇り		-12.29		-6.82		-11.01
	継続意欲	◎	-2.53		-18.83	◎	-0.81
自己の成長	成長期待	◎	-2.03	◎	2.34	◎	1.67
	能力向上		-6.54	◎	-6.01		-10.28
経営目標	経営目標	◎	2.05		-16.54	■	5.80
	経営規模拡大		-2.79		-5.62	■	10.68
	共同生産への興味		-0.67		-9.28		-9.38
	後継者		2.59		-0.14		9.53
他の漁業者との関係	尊敬できる漁業者		-7.56		-2.69	◎	0.54
	漁業者間の信頼		-10.04	■	3.53	◎	0.54
	漁業就業者支援	■	9.86	■	14.29	■	9.39
地域住民や消費者との関係	地域とのつながり		-11.97	◎	0.25		-15.41
	消費者とのつながり		-2.29		-1.09	■	16.68
漁協との関係	漁協への帰属意識	■	6.23		3.29		-1.49
	漁業秩序の維持		-14.51	◎	-2.48	◎	-0.86
	漁業権行使		-6.47	◎	-1.23	◎	-3.51
	漁協への信頼		-7.34	■	6.59	◎	-0.59
	役割の発揮	■	6.89	■	9.82	■	10.00
労働条件	仕事量・労働時間	■	6.38	■	10.96		-11.30
	労働力確保	■	13.87		-1.25	◎	-0.37
	設備・機器		1.50		-7.02	◎	1.57
	漁場環境	■	12.91	■	12.83	■	7.02
収入	単価水準		3.21	■	8.21		-0.55
	評価基準	■	6.67	■	13.11	■	2.13
	収入水準	■	13.98	■	9.24		-0.56
	努力の反映	■	7.58	■	9.15		-6.56

※ 漁業種類ごとの構造分析として、総合満足度との相関係数で評価し、総合満足度と関係が強く、かつ個別満足度の高い項目を「重要項目◎」、総合満足度と関係が強いが、個別満足度の低い項目を「課題項目■」としている。

また、個別項目の改善すべき優先順位を判断するため、改善度を算出し、優先度上位3項目を赤字で記載している。

4 その他（自由記載）

- ・資源の減少や海況の急激な変化により先が見通せない中、現状厳しい経営が続いているので、国や県、市の下支えが無いと、新規漁業者の受け入れは厳しいと考える。漁協も疲弊しているので、抜本的な改革が必要ではないか。
- ・温暖化による魚種や環境の変化に対応していけるか、将来的に不安があり、このままだと若者が漁業から離れていくと思う。
- ・ホタテのへい死の原因がわからない。
- ・磯焼け対策が終わるまで、漁業規則にあるキタムラウニの殻長制限を凍結して欲しい。
- ・漁業資材の高騰、燃油の高騰で水揚げ高は良くても、経費がかさんでかなり厳しい状況であり、漁業者を助ける制度を作るべきだと思う。
- ・新規漁業者の募集について、ホームページはもちろん、岩手県のアンテナショップや道の駅、産直そして全国の水産高校などに宣伝してみてもどうか。
- ・漁家子弟でない新規漁業就業者にとって、親方とのマッチングは重要だと考える。漁業就業のきっかけとして、漁業体験、何人かの親方との交流、別の仕事から漁業就業した先輩と話す機会があれば良いと思う。多くの職種で人手不足の中、遠くない将来、漁業は素晴らしい仕事だと次の担い手に話せるようになりたいと思う。
- ・地域外からの新規就業者に対しては、漁協または市の職員が新規就業者を手厚くサポートする制度がないと、地域に溶け込むことが難しく、育ちづらいと思う。
- ・若手漁業者を支援、育成する環境を作って欲しい。もっと漁業に新規参入できるようにして欲しい。漁業にもっと若者が関心を持ってもらえるよう、対策してほしい。
- ・漁業人口は減少しているはずなのに養殖場に空きが無く、何年も当初思い描いていた事とは違う内容の仕事をしている方もいる。定着させる事が目的であれば、募集、面接段階からよりリアルな現場状況を伝える事が大切だと思う。また、移住者に対しては地域ごとで営むことのできる漁業種類の説明や転居のサポートも必要だと思う。いわて水産アカデミーの取組をもっと現場の漁業者に周知することも必要。県の研修機関、地域の漁業者が一体となって進めなければ、新規漁業就業者が安心して地域の一員として、また一人前の漁師として成長していく事は難しいと思う。

5 考察

総合満足度の近年の推移（表3）をみると、今回の調査で重要項目とされた「やりがい」、「能力の活用」、「継続意欲」は、過去の調査でも同様に重視されており、これらが漁業の魅力に繋がっていることが推察されます。

一方、令和2年から令和3年にかけて、「将来への希望」、「収入水準」が重要項目から課題項目に大きく変化しています。

これは、海洋環境の変化等により養殖業では貝毒の長期化やワカメ等の生産量の減少、漁船漁業では、サンマ、スルメイカ等の主要魚種の水揚量の減少、採介藻漁業では、磯焼けによるアワビ資源の減少などの要因に加え、コロナ禍での魚価安等の影響が顕著に現れてきたためと考えられ、本調査の自由記載でも同様な意見を頂いています。

漁業種類別の個別満足度（表4）をみると、どの漁業種でも「収入」に関する項目や「漁場環境」が共通して課題としてあげられており、海洋環境の変化等に伴う収入減少の影響が続いていることが伺えます。また、どの漁業種でも「漁業就業者支援」が求められており、これらの課題に対する対応が必要と考えられます。

Ⅲ まとめ

1 総合満足度について

令和5年度の総合満足度は令和4年度に比べ上昇していますが、長期的な視点では、平成29年度をピークに低下傾向にあります。

総合満足度の構造分析では、就業に対する魅力である「重要項目」の項目数が減少し、就業に対する伸びしろである「課題項目」の項目数が増加する傾向にあり、「課題項目」の中でも、「漁業就業者支援」、「漁場環境」、「収入水準」の順で、優先的に改善が求められています。

2 漁業種別の満足度について

(1) 養殖業

漁業に対するやりがいや継続意欲を持っている一方で、収入水準をあげるための支援や労働力の確保、漁場環境の改善が求められています。

(2) 漁船漁業

漁業に対するやりがいや自己の成長を感じている一方で、就業者に対する支援や漁場環境の改善等が求められています。

(3) 採介藻漁業

所属漁協や他の漁業者との信頼関係が築けており、自分の能力を發揮できている一方で、消費者とのつながりや経営規模の拡大等が求められています。

3 今後の対応等について

漁業を取り巻く環境や社会経済情勢が変化している中、「なりわい」としての漁業の魅力を上昇させるため、今回の調査で重要項目とされた「やりがい」や「能力の活用」などを重視しながら、「漁業就業者支援」、「漁場環境」や「収入水準」などの視点から、改善の取組を戦略的に推進していく必要があります。

このため、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランの分野別計画として、令和5年3月に「岩手県漁業担い手育成ビジョン（令和5～8年度）」を策定し、市町村や漁協、漁業関係団体と連携しながら、次代を担う意欲ある新規漁業就業者の確保・育成と地域漁業の中核となる強い漁業経営体の育成を推進しているところです。

具体的には、養殖業では、新たにホタテガイに比べ高水温に強く、貝毒の影響が少ないとされるアサリ養殖の事業化に取り組んでいるほか、養殖ワカメの生産量回復に向け、水産技術センターが開発した水温変化に強い大型人工種苗の普及・拡大を進めています。

漁船漁業では、資源量が増加しているマイワシを対象とする試験操業や、国のTAC制度に基づいた資源管理の取組を推進しています。

採介藻漁業では、アワビの資源回復に向けて、種苗放流手法の改善に加え、藻場造成の取組を一体的に進めるとともに、関係機関等と連携し、漁場から間引きしたウニの蓄養や試験販売のほか、ウニの高鮮度流通モデル開発に取り組んでいます。

また、漁業就業者支援としては、いわて水産アカデミーを核として、漁家子弟を含む新規漁業就業者への漁業の知識、技術の習得支援やアフターフォロー、また、全国漁業就業支援フェア等への出展等による新規漁業就業者の確保に向けた取組や本県漁業に関する情報発信等を進めています。

今後も、引き続きこれらの取組を積極的に推進することにより、漁業者の満足度の向上とともに、「なりわい」としての漁業の魅力の向上を図っていきます。

令和5年度 漁業担い手満足度調査【調査票】

本県の漁業就業者は、後継者不足と相まって高齢化と減少が続いており、新規就業者の確保が喫緊の課題です。本調査は、現場で活躍する漁業者の皆様を対象に、日々の仕事に対する満足度やその源泉となる要因を把握することで、本県における漁業就業の魅力として誇れるものや不足しているものを共有し、漁家子弟・未経験者の漁業就業への動機付けや就業環境の改善を図るための参考とするものです。
本調査の趣旨を御理解いただき、御協力お願いいたします。

※ 本調査で得た情報については、**目的以外には使用しません。**
また、集計結果のみを使用するため、**個人情報**がそのまま外部に漏れることはありません。

問1. あなたご自身のことについてお伺いします。

各項目について、**あてはまる番号に○印**をつけてください。

- ① **居住地**..... 1. **久慈地区** (洋野町・久慈市・野田村・普代村).....
2. **宮古地区** (田野畑村・岩泉町・宮古市・山田町).....
3. **釜石地区** (大槌町・釜石市).....
4. **大船渡地区** (大船渡市・陸前高田市).....
- ② **属性**..... 1. **指導漁業士** (66歳以下で、知事の認定を受けたもの).....
2. **青年漁業士** (46歳以下で、知事の認定を受けたもの).....
3. **若手漁業者** (指導漁業士、青年漁業士以外で着業から10年以内の漁業者).....
- ③ **収入のメインとなる漁業種類**.....
1. **漁船漁業** 2. **養殖業** 3. **採介藻漁業** 4. **その他** (.....)

問2. 漁業に関するさまざまな項目について、満足度をお伺いします。

次の各項目について、どのように感じていますか。**あてはまる番号に○印**をつけてください。

そう 思わない	あまり 思わない	まあ そう	そう 思う
------------	-------------	----------	----------

- | | | | | |
|---|---|---|---|---|
| (1) 漁業に やりがい を感じている..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (2) 漁業者としての自分の 将来に希望 を感じている..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (3) 水産物の食糧供給を担う 責任 ある仕事だと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (4) 自分の能力 が活かせる仕事だと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (5) 自分の生産物や地域のブランド に誇りをもっている..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (6) 体力と意欲が続く限り 働き続けられる 仕事だと思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (7) 仕事を通じて人として 成長 できると思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (8) 自身の能力向上 (試験研究、研修、講習会等)の機会に恵まれていると思う..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (9) 自分には明確な 経営目標 がある..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (10) 現在の 漁業経営の規模 を拡大したい..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (11) 他の漁業者等との 共同生産 に興味がある..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (12) 後継者、又は後継者として見込んで いる者がいる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (13) 地域に 尊敬 できる漁業者がいる..... | 1 | 2 | 3 | 4 |
| (14) 必要なときに 他の漁業者に相談 できる環境にある..... | 1 | 2 | 3 | 4 |

【裏面に続きます】

	そう 思わない	あまり 思わない	まあ 思う	そう 思う
(15) 地域には、漁家子弟や未経験者の漁業就業を支援する環境が整っていると思う。	1	2	3	4
(16) 近隣住民とのつきあいが多く、地域とのつながりが深い。	1	2	3	4
(17) 消費者と対話する機会を積極的に確保している。	1	2	3	4
(18) 所属する漁協の組織運営や経営方針、取組等（「地域再生営漁計画」等）に理解を示している。	1	2	3	4
(19) 地域の漁業者はルールを守って操業している。	1	2	3	4
(20) 十分な漁業権の行使機会に恵まれている。	1	2	3	4
(21) 必要なときに漁協に相談できる環境にあると思う。	1	2	3	4
(22) 地域には年齢、経験、性別に応じて、それぞれの役割を發揮できる漁業生産環境が整っている。	1	2	3	4
(23) 現在の自分の仕事量や労働時間・休暇のバランスは妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(24) 漁業生産のために十分な労働力が確保できている。	1	2	3	4
(25) 漁業生産のために十分な設備・機器が整っている。	1	2	3	4
(26) 漁場の生産環境は良好である。	1	2	3	4
(27) 生産物の単価は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(28) 生産物の評価基準や評価体系は明確だと思う。	1	2	3	4
(29) 現在の自分の収入は妥当な水準だと思う。	1	2	3	4
(30) 自分の努力は収入に適切に反映されていると思う。	1	2	3	4

問3. 総合的に考えて、現在の漁業の仕事や環境にどの程度満足していますか。
あてはまる番号に○印をつけてください。

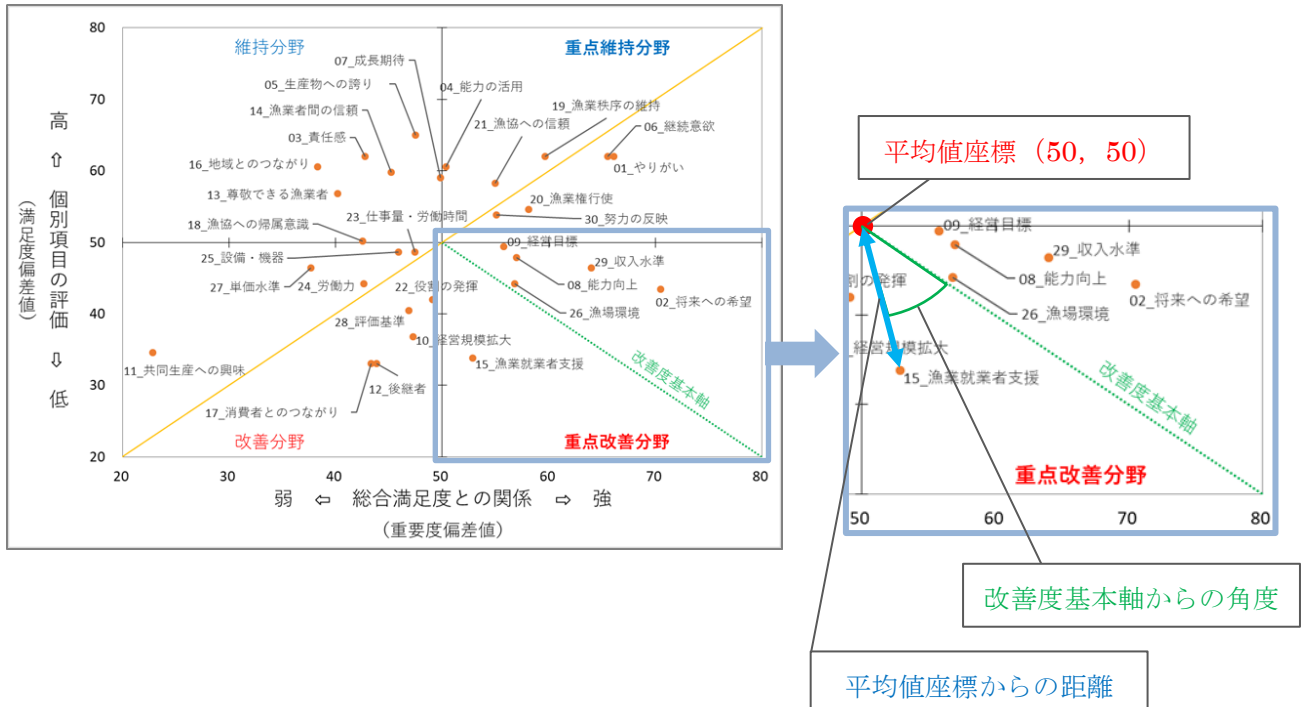
1	2	3	4	5	6	7
←		ふつう			→	
非常に 不満						非常に 満足

◆ 県の新規漁業就業者の確保・育成施策に関して、提案・意見などがありましたら、ご記入ください。

設問は以上です。ご協力ありがとうございました。

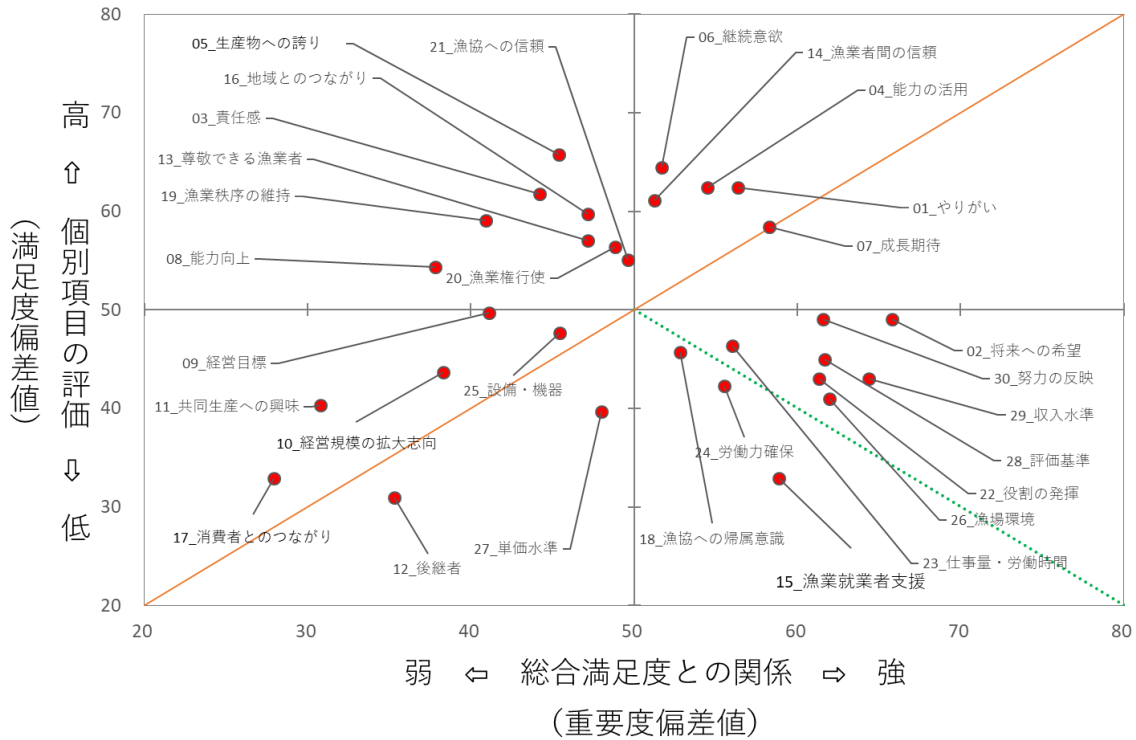
用語解説

- ・満足率：各項目の回答者数に占める「良い」（そう思う、まあ思う）の割合のこと
- ・重要率：各項目と総合満足度との相関係数のこと
- ・満足度：満足率のばらつきをそろえるため、偏差値に変換した数値のこと
この数値が低いと、改善の必要性が高いといえる
- ・重要度：重要率のばらつきをそろえるため、偏差値に変換した数値のこと
この数値が高いと、総合満足度との関連が強いといえる
- ・重点維持分野：満足度、重要度ともに高い分野であり、強みとして維持すべき項目であることを示している
- ・維持分野：満足度は高いが、重要度は低い分野であり、維持するとよい項目であることを示している
- ・改善分野：満足度、重要度ともに低い分野であり、改善は必要であるものの、優先順位としては低いことを示している
- ・重点改善分野：満足度が低いが、重要度は高い分野であり、優先的に改善すべき項目であることを示している
- ・改善度：各項目の座標上の位置から、改善すべき優先順位に応じて数値化したもの。
改善度＝改善度基本軸からの角度(※)×平均値座標（50、50）からの距離
※角度について、改善度基本軸と反対側（90度以上）の場合はマイナスになるように修正

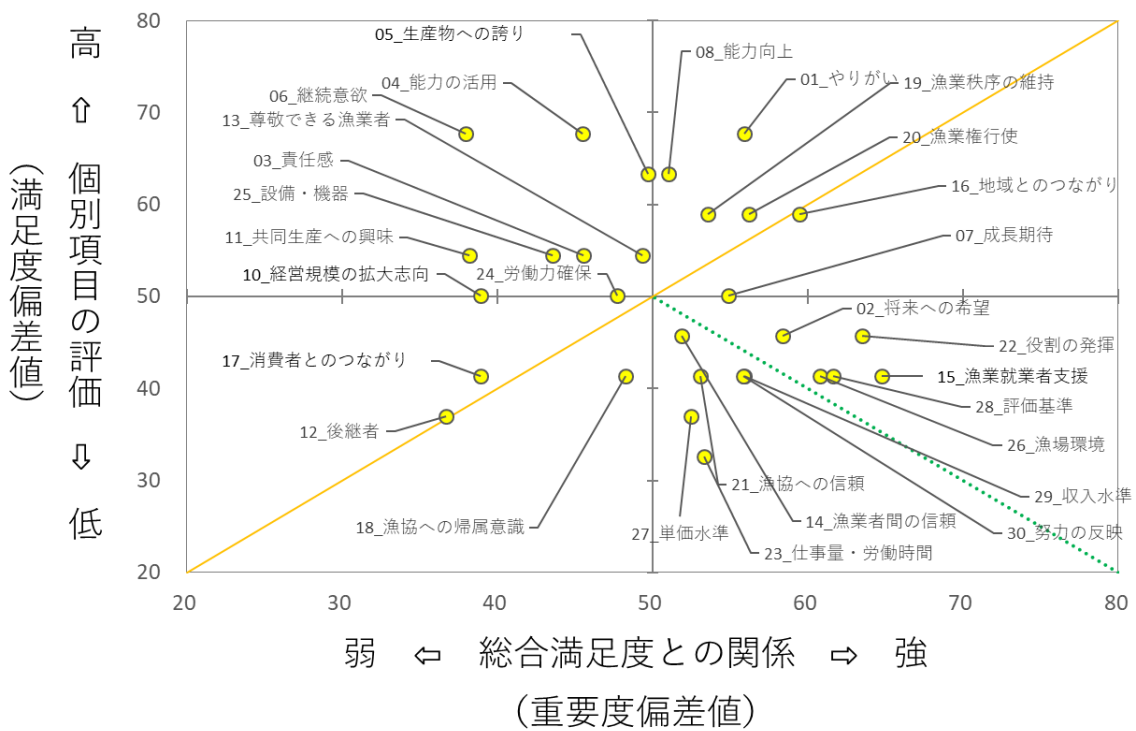


資料編（各分析データ）

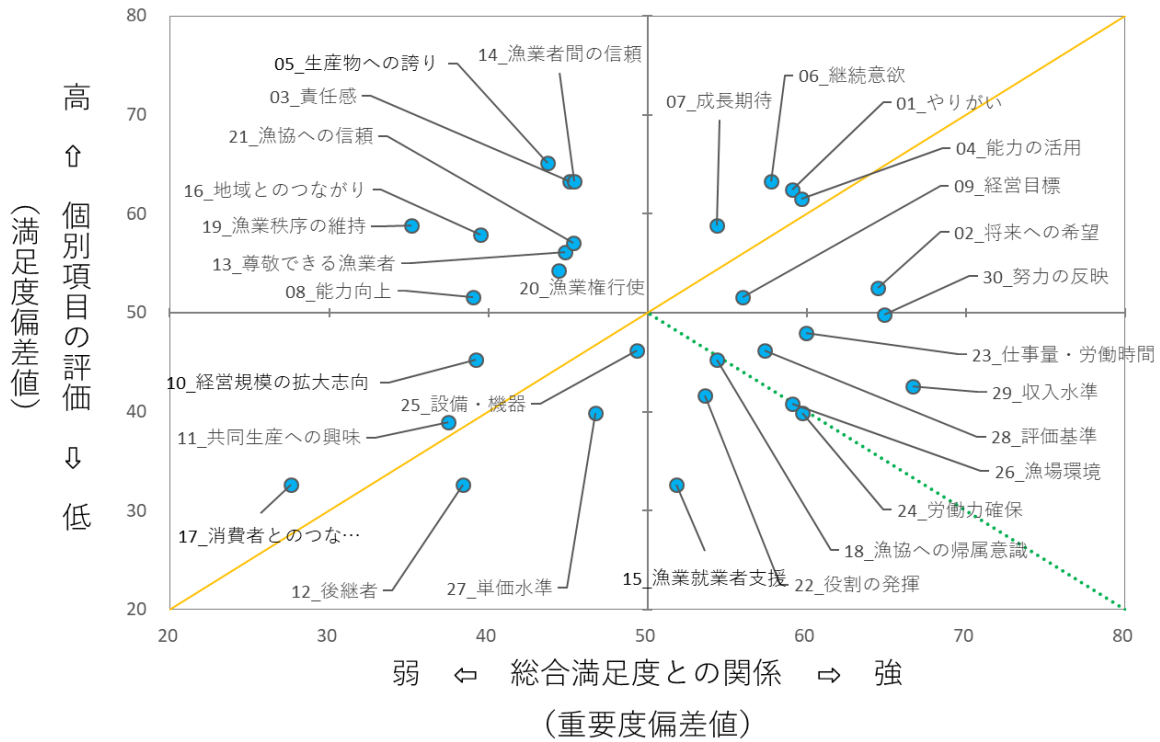
【総合満足度の要因グラフ（全体）】



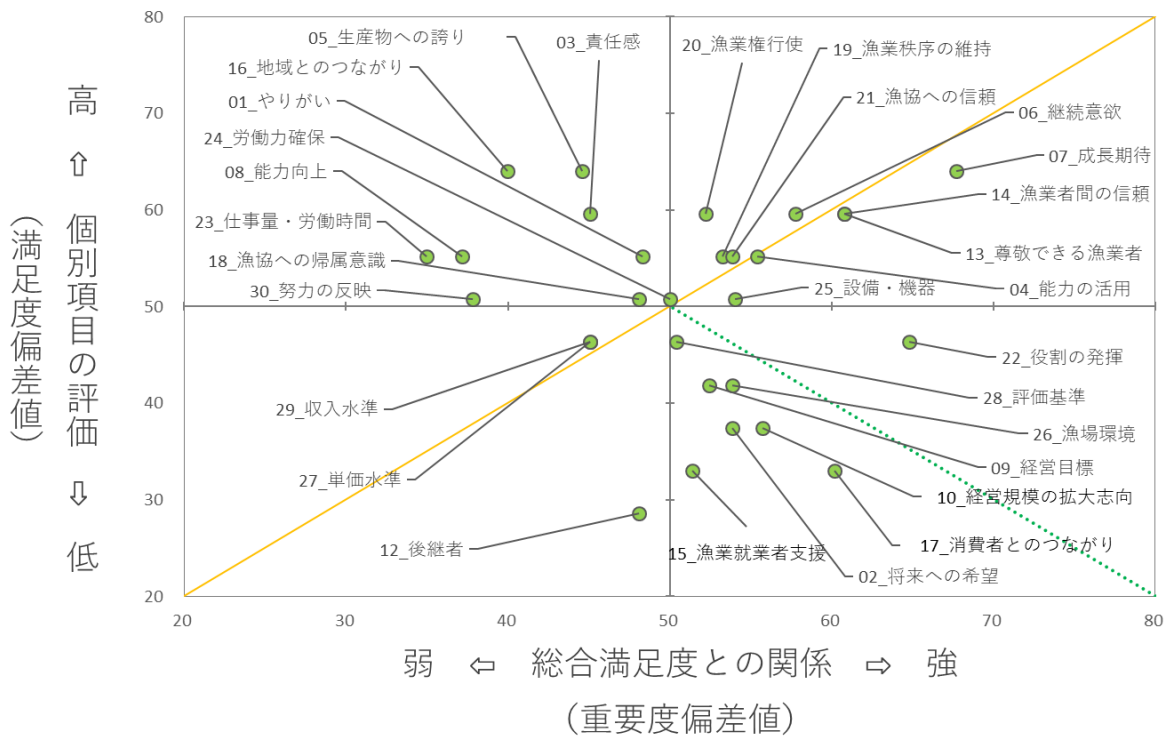
【総合満足度の要因グラフ（漁船）】



【総合満足度の要因グラフ（養殖業）】



【総合満足度の要因グラフ（採介藻）】





(いわて水産アカデミー アカデミー修了生が講師となったロープワーク)

令和5年度漁業担い手満足度調査報告書

令和6年11月

岩手県農林水産部水産振興課

〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10-1

電話：019-629-5806 FAX：019-629-5824